

マキノ まち協だより



令和7年度 第1号

まち協だよりは、住民の皆さんとマキノまちづくり協議会が一緒に活動を広げていくことを目的として発行しています。

これまで3年間にわたってまち協だよりをお届けしてきましたが、今回は少し「マキノまちづくり協議会の役割と取り組み」について触れてみたいと思います。この協議会はマキノ地域にある区や自治会、いろいろな活動を行っている団体や企業、そして住民である皆さんと行政をつなぐ役割を担っていきたいと考えています。ただし、行政に対して一方的な要望を伝える団体ではありません。行政には行政にしか果たせない役割があります。例えば様々な住民への支援は常に平等・公平の視点から取り組まなければなりません。けれども、実際に困っていることや援助が必要なことは、住んでいる場所や環境、人間関係などによってそれぞれ違ってあたりまえで、よりきめ細やかな支援や対策が必要な時に地区単位で状況に応じた対応ができるよう、行政や関連組織との間を取り持つ団体が必要になってきます。

マキノまちづくり協議会は皆さんの協議会です。すぐに解決できないこともあるかもしれませんが、一緒に考え、実現に向けての一步を踏み出しましょう。

会長 谷口 浩志

◎ 令和7年度事業&活動計画

●「マキノまち協・みんなで会議」

マキノのまちづくりについて情報を共有・共感する場を企画・開催する

●情報発信事業（広報年3回発行）

広報媒体の整備と情報発信を行う

●先進地視察研修

マキノまち協の活動について必要な先進事例を研修施す

※まちづくり計画の評価と見直し

第2次まちづくり計画を策定する

■防災地域探訪調査の企画・開催（要望対応）

地域住民と共に地域内の危険箇所等を確認・検証する

■防災啓発看板の普及（要望対応）

看板の製作を通して地域住民の防犯意識の高揚を図る

■マキノ子ども体験

地域にある自然や文化との触れ合いや交流を通して愛郷心を育む

■マキノでものづくり体験

地域の素材等を活用し自然に親しみ、地元の良さを再認識する

■マキノの子ども若者の懇談会の開催

異世代との会話や交流の機会を設けて今後の活動に反映する

※協議会の運営（総会・理事会・部会）

活動や会議の場を設けて連帯意識を育み、組織としての協調性や向上心の醸成を図る

「ニジマスつかみと炭火焼き&防災体験」

令和7年度の最初の事業として今回で3回目の開催になりますが、皆さまのご要望にお応えして「ニジマスつかみと炭火焼き&防災体験」を企画しました。

地域の子供たちはこれからも益々減少すると思われますが、今を生きる多忙な子どもたちにはマキノの豊かな自然の中で多くの体験をすることで、新たな学びを実感して、一生の思い出として記憶し、それらを自主的に活用できるようになってほしいと考えています。

地域の人々と共に、地域の生活の中にある資源や技術を活用して、活動やイベントの中でちょっとしたアイデアとして加えることが、自主性を育むことになります。

今回は防災体験とタイトルにあるように①から③の火を消すという体験も加えました。

①～体験後の火の始末はどうするの？～

②～火を消すのにどれだけ水が要るの？～

③～水をかけて消化するとどうなるの？～

参加された子供たちが疑問(?)に思うことについて「体験」というスタイルで体感してくれたらと思っています。



マキノまちづくり協議会は設立されて4年目になります。毎年、体験型事業を企画・開催することを目的として取組んでいます。体験会場であるマキノ高原観光株式会社、体験をフォローしていただく高島市消防団（マキノ第二分団）など、地域にある多様な団体のご理解やご協力をいただいて、一步ずつ歩んでいきたいと考えています。

♪ ひとりでも多くの皆さまのご参加をお待ちしています ♪



参加協力金
100円

ニジマスつかみと炭火焼 & 防災体験

in マキノ高原

令和7年9月7日(日)
13:30~16:00

マキノ高原の
大自然が舞台！
マキノの子どもたちが
「元気で生き生き育つ」
ことを目指して体験
活動を企画
しました。

消防ポンプの
放水もあるよ！

- 対象者：マキノの子どもたち
未就学児～高校生
※保護者同伴OK。
小学2年生以下の方は、必ず高校生以上
の方と一緒にご参加ください。
- 定員：60名(先着順)
- 集合：マキノ高原管理事務所前
にて、13:00受付開始
- 持ち物：動きやすい服装、川に
入ってよい靴、着替え(濡
れた場合)、タオル、帽子、
水筒(飲み物)※熱中症予防の
ため、必ず持参してください。
- 協力金：100円(1名につき)
- プログラム：裏面参照
- 雨天の場合：中止します。

※申込時に必ず連絡先をご記入ください。
中止の場合は前日正午までに連絡します。

参加申込QRコード



※用意する魚の数に限りがあります。
必ず事前申込をお願いします。

お手伝いスタッフ
も募集中！

申込締切：9月1日(月)

※スタッフ協力者は8月25日(月)まで

主催：マキノまちづくり協議会 電話：090-2115-9137

高島市マキノ町蛭口260-1 マキノ土に学ぶ里研修センター内

協力：マキノ高原観光株式会社・高島市消防団(マキノ第二分団)

◎ マキノ中 で 「トークフォークダンス」 開催 ◎

～ 参加者を募集しています！～

マキノ中学校では 学校と地域を繋ぐ取組みの一環として、生徒と地域の皆さんとの関わりを深めることを目的として「トークフォークダンス」を開催される予定です。ファシリテーターには、高島市出身で「ハNZオン埼玉」というNPOなどでご活動されている 西川正さん をお招きして進められるようです。

市内の中学校等でも既に開催されているところもある様子で、参加者の皆さんや関係団体の皆さんからのコメントも紹介されていました。今回、マキノまちづくり協議会では参加者募集についてお手伝いをさせていただくことになりました。是非ともご参加くださいね！ ご協力をよろしくお願いします。

開催までにはまだ少し期間がありますので、詳細等が決まりましたら改めてお知らせします。

開催日：11月12日（水）午後から 主催：マキノ中学校

問合せ先：090-2115-9137（マキノまちづくり協議会）

「まち協」会員募集中！！

マキノまちづくり協議会（まち協）では、

マキノをいつまでも住み続けられる場としていくことを目的に、多様な団体や個人が地域の課題を検証し、協力し合いながら支援をすることを目指しています。まち協では、

◆ 安心して暮らせる「防災・防犯」

◆ 「子ども・若者の支援」による

地域人材の育成

◆ いつまでも住み続けるための「生活支援」

を活動の基本方針として活動してきましたが、更なる前進のために皆さんの参加・参画を強く願っています。ご協力をお願いします。

課題山積の地域社会ではありますが、共に手を携え、腕を組んで未来に向かって一歩ずつ確実に歩みを進めましょう。

今年度もスタートして早5ヶ月、今後の活動については「まち協だより」や募集チラシ、公式ライン等でもご紹介・ご案内していきます。

発行月 令和7年9月

発行所 マキノまちづくり協議会

電話番号 090-2115-9137

住所 高島市マキノ町蛭口260-1

マキノ土に学ぶ里研修センター内



公式 LINE



Instagram

公式LINE や Instagram の登録をお願いします。



マキノまちづくり協議会 個人会員申込

入会員名	
住所	
電話番号	
メール	
マキノとの関わり	在住・勤務・その他

※マキノまちづくり協議会に入会希望の方は記入後、土に学ぶ里研修センターに提出してください。